

小中一貫教育推進だより



平成 25 年 7 月 24 日 No. 27

十日町市教育委員会学校教育課



計画訪問を通して

学校教育課 指導主事 田村 豊

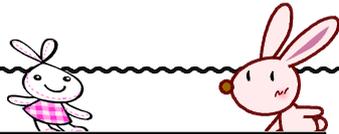
明日から夏休みです。子どもたちは、学校や家庭以外のところでも様々なことを経験し、一段と逞しくなって元気に2学期を迎えてほしいものです。

さて、第1回中学校区計画訪問が6月6日から約3週間の日程で行われました。今回の訪問で気づいたことを挙げたいと思います。

はじめに、「小中一貫教育」という言葉が、参加者からより自然に出るようになってきたことです。特に、午前中の「中学校区共通課題の解決に向けた協議」では、9年間の一貫性・継続性のある教育活動の報告や意見が多くありました。モデル中学校区以外でも「学力向上策」の1つに「授業規律」を重視して取り上げるところが増えています。一例を紹介しますと、「個人で用意する道具や姿勢」の図示や、授業マナーのポイントとして「話をする人の方に体を向け、反応しながら聞く、話す」などの掲示があります。これらは、自校だけでなく中学校区全体が共通の課題を探りながら整理し、規準を明確にしたものです。

次に、「人間関係づくり」や「キャリア教育」においても、9年間の全体計画の整備が進んでいます。その中で、コミュニケーションの行動目標を例にします。小学校低学年では、「自分の考えを進んで発表したり、友だちの考えをよく聞いたりすることができる」としています。小学校の中・高学年では、「友だちの気持ちを理解する」や「異なる意見や考えを大切にすること」という観点に加わり、中学校では、「積極的に意見や考えを伝え合うことで互いに理解し合い、他者を尊重しながら自分の考えを深めていくことができる」ということが挙げられています。これらをみると、中学校の目標に到達するには、小学校低学年の目標内容が主要な部分を占めていることがわかります。

以上は、各中学校区で取り組んでいることの一部ですが、他の分野についても、小学校低学年の時期に身に付けた能力や態度を基本に発展させることが共通しています。また、他律から自律へ移行する系統性を踏まえて、具体的な目標や重点を子どもの視点で示しています。そうすることで、子どもたちは、自身の態度や行動を明確に捉え、自らの実践と評価につながります。そして、支援や承認を受けながら「自分にはできる」といった自己との対話から有能感や肯定感を高め、意欲的に課題に取り組む好循環の教育活動が展開されると考えます。



しよっちゅう一貫 耳より情報

<学力向上事業の取組から>

「～プロに学ぶ～授業力向上研修会」 part2 の今回は、8月19日（月）、20日（火）の両日、千手中央コミュニティセンターを会場に、札幌市立北白石中学校堀裕嗣教諭をお招きしての研修です。「～プロに学ぶ～授業力向上研修会」は、昨年度から始められ、参加した方々からは大変好評をいただいています。参加したいと思っても授業日だと出にくい実態がありますが、今回は夏休み中です。また、3つの講座からの選択受講が可能です。めったに無い、参加し易い条件の揃った良い機会だと思います。今から予定を差し繰り、市内の多くの先生方からは是非参加して欲しいと願っています。詳しくは、7月4日にアップされている掲示板をご覧ください。

<計画訪問から その1 コーディネーター会議 >

6月6日の拡大中学校区からスタートした市内全中学校区の計画訪問が終了しました。どの中学校区からも、試行最終年度の意欲的な取組の様子が伝わってきました。訪問から見えてきた、取組の一部を紹介します。

今回は、南中学校区のコーディネーターの取組の様子です。どこの中学校区でも各校にコーディネーターを置き、小中一貫教育推進のためのコーディネート役を担ってもらっています。このコーディネートの仕事は、効果的な情報共有・情報発信の場が与えられないと、本人が頑張ろうと思ってもなかなかうまくいかないものです。

南中学校区では、校長・教頭・コーディネーターで組織する「推進会議」の下に「コーディネーター会議」を位置付けています。この会は、各校コーディネーター（教務）と教育助手がメンバーです。また、その下にある「班長会議」は、コーディネーターと班長で組織されています。6つある班には、顧問として管理職が、アドバイザーとしてコーディネーターが1人ずつ所属しています。



<コーディネーター研修で中学校区の取組検討>

必要に応じ、月に1～2回のコーディネーター会議を持ちながら、「推進会議」や「班長会議」「班の取組」との強いパイプ役を果たしています。こうして、コーディネーターは、情報共有・情報発信の場を確実に与えられ、各班の動きを掌握・アドバイスしながら全体の動きへとつなげているのです。



しよっちゅう一貫 先進地に学ぶ

<小中一貫教育全国サミット in つくば >

小中一貫教育全国連絡協議会主催の小中一貫教育全国サミットが本年度も開催されます。8回目の本年度は11月21日（木）・22日（金）の2日間、つくば市で開催されます。

参加希望者は、インターネットで「第8回 小中一貫教育全国サミット in つくば一次案内」をご覧ください。



小中一貫教育にかかわる8月の活動予定



毎月ここに掲載している活動予定は、どなたでもその活動を見ていただけるように紹介しているものです。時間を見つけて、ぜひお出掛けください。その際には、当該学校へ一声掛けてからお出掛けください。

日時 <内容>	会 場	見 どころ
1日 (木) <交流活動> 9:45 ~ 15:20	森の学校 キョロロ	・川西中学校区の3小学校の5年生が、「緑の少年団交流会」に全員参加し、ゲームや体験活動を通して交流を深めます。
1日 (木)・2日 (金) <夏休み補充学習会> 8:30 ~ 9:30	川西中学校	・川西中学校区の小学校教員と中学校教員が協力して、中学1年生の英語と数学の学習の支援をします。
1日 (木) <体験活動> 8:30 ~ 11:30	水沢中学校	・水沢中学校区の小学6年生が、中学校で部活動の体験をします。前半、後半で希望する2つの部活動を体験します。
6日 (火) <研修会> 19:00 ~ 20:30	千手小学校	・川西中学校区では、毎年、子育てにかかわる学校・家庭・地域の連携を深める取組として「かけはし講演会」を実施しています。教職員、保護者・地域の大人を対象にした特別支援教育にかかわる講演会です。
8日 (木) <研修会> 10:00 ~ 11:30	教育会館	・南中学校区の教職員が一堂に会し、学力向上に向けた研修を行います。講師は新潟市立総合教育センターの大井隆総括指導主事です。
20日 (火) <交流活動> 9:00 ~ 11:00	中条中学校	・拡大中学校区の高学年が一堂に会し、中学校陸上部の生徒や教員から指導を受けながら、陸上競技の練習をします。
20日 (火) <交流活動> 11:15 ~ 12:15	中条中学校	・拡大中学校区では、挨拶運動に取り組んでいます。中学校区の児童会・生徒会の代表が5月の取組を振り返り、より良い取組にするための話し合いをします。
20日 (火) <研修会> 終日	環境と人間のふれあい館 (新潟市)	・松代・松之山中中学校区では教職員の合同研修会を実施します。新潟水俣病資料館で体験や講話を通して、人権の尊さについて学びます。
20日 (火) <研修会> 14:00 ~ 16:00	教育会館	・吉田中学校区の教職員が一堂に会し、同和教育についての研修を行います。講師は上越教育大学学校教育実践研究センターの亀山浩特任准教授です。
21日 (水) <研修会> 8:00 ~ 17:40	環境と人間とのふれあい館・隣保館 (新潟市・新発田市)	・川西中学校区では同和教育現地学習会を実施します。講話の聴取や現地観察を通して、部落差別の実態に学び、人権意識を高めるとともに、同和教育、人権教育に関する教職員の資質・指導

<p>21日(水) <会議及び研修会> 13:30 ~ 16:30</p>	<p>水沢中学校 ランチルーム</p>	<p>力の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水沢中学校区では講師を招聘し、全職員で学力向上に向けた研修を行います。その後、小中一貫教育にかかわる3部会を実施します。
<p>21日(水) <研修> 9:00 ~ 12:00</p>	<p>中里公民館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中里地区の保育園、小・中学校教職員が低学年、中学年、高学年・中学の3部会に分かれ、市教育センター相談員を交えて生徒指導に関するグループ討議をしながら研修を行います。